

平成23年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果に関する報告書



志摩市教育委員会

目 次

I	教育総務費	・・・	1
II	小学校費	・・・	6
III	中学校費	・・・	11
IV	幼稚園費	・・・	14
V	社会教育費	・・・	15
VI	保健体育費	・・・	38
VII	学識経験者の意見	・・・	54

施策の成果及び執行実績

I 教育総務費

1、教育委員会費 3,440,710 円 【教育総務課】

教育委員会の開催

開催回数 定例教育委員会 12回、臨時教育委員会 3回

審議内容

会議録に関する事	12件
人事に関する事	7件
財政に関する事	7件
教育委員会の承認に関する事	4件
委嘱に関する事	18件
条例に関する事	39件
その他	23件

【点検及び評価】

原則、毎月20日に定例の教育委員会を開催し、各案件に対して委員による審議や情報交換等を行っているが、定例会までに審議しなければならない補正予算等の案件が生じたため、臨時の教育委員会を開催した。

教育委員4名中、保護者である委員2名、女性の委員1名で構成されており、志摩市の幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していくうえで、重要な合議制の執行機関の役割を担っている。

2、事務局指導費 93,736,613 円 【学校教育課】

①学校等メール配信システム利用業務

幼稚園及び小中学校の児童生徒の保護者に対して、不審者情報や災害時の連絡などを、各園・学校もしくは教育委員会のパソコンや携帯電話から保護者の携帯電話等へ一斉にメール配信するサービスを利用した。

業務名	契約金額	契約業者	備考
学校等メール配信システム利用業務	630,000円	バイザー株式会社	

②ALTの学校への派遣

小学校129回、中学校667回

※延派遣回数（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

業務名	契約金額	契約業者	備考
外国人英語指導業務	19,992,000円	株式会社 アルティアセントラル	4人

施策の成果及び執行実績

③学校図書館運営補助員巡回事業

県の緊急雇用創出基金事業市町村等補助金を活用した事業であり、小中学校に週2回補助員が巡回し、資料整備（選書、受入、除籍）・館内整備（書架整理、ディスプレイの設置）・読書活動推進（テーマコーナーの設置、読み聞かせ）・授業サポート等の業務を行うことにより、学校図書館の活性化と児童生徒の読書活動の促進を図った。

学校図書館運営補助員巡回事業	31,154,541円	株式会社 リブネット	18人
----------------	-------------	------------	-----

【点検及び評価】

小学校におけるALTの活用については、新学習指導要領により小学校5・6年で週1コマ「外国語活動」を実施しており、小学校の英語教育の重要性が高まる中、各中学校と日程調整を行い、できる限り小学校への派遣を確保することに努めた。

平成23年度は、志摩市で4人のALTの体制になっており、小学校ではじまった外国語活動への対応が十分できない状況になっていた。しかし、小学校での外国語活動の授業に対応すべく、緊急雇用創出基金事業市町村等補助金を活用し、小学校英語教育補助員を2名雇用することで取組を推進した。このことにより各小学校からの要請に十分応えることができた。

各学校へのALTの派遣は、国際化社会が進展する中、大変重要な施策と考える。

④研究等推進事業

自分発見！中学生・地域ふれあい事業

自分の将来の生き方や進路を模索し始める中学生を対象に、学校、家庭、地域社会が一丸となって地域ぐるみで職場体験活動を実施することで、「地域の子どもは地域で育てる」という気運を高めた。

事業名	事業費	学校名等	備考
自分発見！中学生・地域ふれあい事業	800,000円	中学校2年生対象 全11校20学級	市単

⑤授業研究指定校事業

志摩市の子ども「学び」を実現するために、その第一歩として「学び」の基礎・基本となる教科の学習を充実させた。

授業研究指定校事業	950,000円	浜島小 和具小 志島小 畔名小 甲賀小 国府小 的矢小 東海中 磯部中 船越中 文岡中 的矢中	市単
-----------	----------	--	----

⑥「ふるさと三重」教育推進事業

中学生用学習教材「三重の文化」の活用を推進し、新学習指導要領が重視する言語活動の充実や伝統・文化に関する教育の充実を図った。

「ふるさと三重」教育推進事業	100,000円	安乗中	県委託 100%
----------------	----------	-----	-------------

施策の成果及び執行実績

⑦キャリア教育バージョンアップ事業

キャリア教育における小学校と高等学校との連携を推進し、児童の発達段階に応じて、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力・態度を系統的に育成するため、校種間の連携によるキャリア教育を推進した。

キャリア教育バージョンアップ事業	150,000円	片田小、和具小、神明小	県委託 100%
------------------	----------	-------------	-------------

【点検及び評価】

一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するため、以下の小学校7校及び中学校5校で指定研究を実施した。

浜島小学校では、「話し合いのできる子どもたちをめざして」として、授業規律の確立・聞く・話す・話し合う力の育成を目指して研究を進めた。学年間の学習ルールの統一や分かる授業と楽しい授業を実施し、授業研究を進めた。2年次として、その成果等の研究発表会を7月1日に実施した。

畔名小学校では、「ともに学び合い、高め合う子どもの育成」として算数科を中心に考えを交流する授業を通して学力の向上をめざして取組を進めた。小さなホワイトボードを利用して考えをまとめたり、考えを伝えるのに利用したりする工夫などに取り入れ、高め合う子どもの育成を目指している。

和具小学校では、「自ら考え、伝え合い、学び合う学習集団づくりをめざして」として研修に取り組んだ。国語科の説明文を通して授業の中で、文の構造を知る。学んだことを基に文を書き考えをまとめる。互いに発表し、高めあう授業の提案をおこなってきた。2年次として11月18日にその成果を発表した。

志島小学校では、「確かな学力を身につけ、仲間とともに学び合う子どもの育成をめざして」として、国語科の文学教材の指導を通して、確かな学力を身につけさせる工夫の研究が行われた。読む力・書く力・話す力・聞く力を育む指導のあり方の工夫を行った。複式学級では、間接指導の効果的な在り方と学び合うことについても研究が進められた。2年次として11月11日にその成果を発表した。

甲賀小学校では、「一人ひとりを大切にし、お互いに認め合える子をめざして」として説明的文章の読み取りを通して、読みの力を育てる研究を中心に授業の改善に取り組んでいる。

国府小学校では、「一人ひとりが考えを持ち、伝え合い、学び合う授業」として手立ての工夫・教師の授業力の向上をめざして取組を進めている。研究授業の事後反省会では、ワークショップ型にして多くの意見を出し合い、改善点などを次の授業に生かした。

的矢小学校では、「お互いの思いを伝え合い、認め合う集団づくり」を目指した。大勢の前では、自分の考えを言い出すことが難しい子がいる。安心して自分を表現できる集団づくりと特に国語科の文学教材を通して教材解釈を深め、指導力の向上に努めた。

船越中学校では、「確かな学力を身につけた生徒の育成」をめざして研究を進めた。基礎学力の向上をはかるための取り組みの在り方の研究を通して、子どもたちに学ぶ楽しさを味あわせ、一層の子どもたちへの学びの意欲を身につけさせていた。

文岡中学校では、「自己の課題を持ち、主体的な態度で学ぼうとする生徒の育成」をめざして研究を進めた。教科の特性や子どもたちの実態からグループ学習を積極的に取り入れることができないか。それが学力の向上や主体的な学習につながるのではないかなどの研修をすすめている。

東海中学校では、「学びあい」「伝えあい」「支えあい」をテーマに子どもたちの目が輝く授業づくりをテーマに研究に取り組んだ。4つの小学校から入学してくるという特徴から学級集団の作りの大切さを基盤として、分かる授業づくりの工夫に取り組んだ。グループ学習の効果的な在り方の研究を進め、授業に活用していった。2年次として、その成果等の研究発表会を10月28日に実施した。

施策の成果及び執行実績

磯部中学校では、「生徒一人ひとりの確かな学びを実現する」をテーマに全ての生徒の学力向上と「生きる力」を身につける取り組みを研究した。

また、多くの授業でのICT機器の活用や生徒の理解を助けるプリントの工夫と生徒同士の学び合いの場の設定について授業の場を通して研究に取り組んだ。2年次として、その成果等の研究発表会を10月13日に実施した。

的矢中学校では、「自らに向き合い、自らを高めようとする生徒の育成」を目指して研究をすすめた。小学校との連携と子どもどうしに関わる場面を増やしていく課題をどう提示していくか等の研究を進めた。教えることと考えることについて研修をすすめている。

それぞれの学校においては、基礎的・基本的な知識や技能の定着については、反復指導・補充学習・家庭学習・評価の工夫で一定の成果を得ることができた。授業改善として、より深い教材の解釈・研究、分かりやすい授業を作る教材・教具の工夫、互いを高めあう授業づくり、グループ学習の取り入れ方等の研究が進んでいた。今後も一人ひとりの子どもに確かな学力を保障するため、意欲を引き出す授業改善と評価、家庭との連携による学習習慣の定着を図り、授業研究の推進に取り組みたい。

3、事務局総務費・・・・・・・・・・・・・・・・ 39,961,580 円 【教育総務課】

①奨学金

貸与	高校生	新規	9人	2,160,000円
		継続	15人	3,600,000円
	大学生	新規	7人	2,520,000円
		継続	20人	7,200,000円
	貸与合計			15,480,000円
償還	現年度分			17,220,750円
	過年度分			691,000円
	償還合計			17,911,750円

3月に「志摩市奨学基金条例」を全部改正し、定額運用基金に変更した。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学困難な者に就学の機会を広めることを目的に、高校生及び大学生等で奨学金の貸与を希望する者より、その申請を受け、奨学金選考委員会で審査し、貸与を行っている。

高校の授業料無料化に伴い、平成22年度より高校生の申請は減少しているが、長引く不況の影響から大学生の申請は増加傾向にある。

経済的な理由による就学困難な者に就学の機会を広げるため、有益な事業と考える。

②高等学校通学補助金

伊勢方面に通学する浜島・志摩・大王・阿児町在住と志摩高校へ通学する志摩・大王町在住の高校生を対象に専用バスの運行を確保することで、利便性の向上と非行防止及び保護者の経済的負担の軽減を図った。

施策の成果及び執行実績

負担金補助及び交付金	1,500,000 円
伊勢通学専用バス運行費助成金	1,260,000 円
志摩高校通学専用バス運行費助成金	240,000 円

【点検及び評価】

一般の路線バス利用者とは別に専用バスを高校の近くまで乗り入れることで、通学時間の短縮につながっている。また、自宅通学が可能となることにより、下宿する必要がなくなることで、保護者の経済的負担の軽減につながっている。

4、事務局施設費 1,620,000 円 【教育総務課】

①小中学校再編推進事業

平成21年11月に策定した「志摩市立小中学校再編基本計画」に準じ、学校教育課と連携して大王地区・志摩地区・的矢地区の再編準備会を開催し、再編を推進した。平成23年度緊急雇用創出事業を活用し、会議資料や会議録の作成などの事務補助職員を雇用した。

【点検及び評価】

大王地区において、中学校再編準備会と制服等検討分科会を各2回、畔名地区保護者懇談会を1回開催した。的矢地区において、再編準備会を2回開催した。志摩地区において、再編準備会を3回、検討分科会を2回、片田地区保護者懇談会を1回開催した。また、安乗・東海地区においては、甲賀小学校と国府小学校を使用する学校として再編を計画していたが、昨年東北大地震の津波被害から、地域より高台への移転の要望もあり、保護者や地域の住民に説明会を開催し、理解を得られた。今後も、基本計画にこだわることなく、保護者・地域の要望や環境の変化に対応した再編を推進していきたい。

施策の成果及び執行実績

II 小学校費

1、小学校施設耐震化事業費 16,172,100 円 【教育総務課】

国府小学校屋内運動場改築工事を平成22年度より繰越し、旧屋内運動場の解体とその跡地を駐車場に整備した。

□ 主な契約

- ・ 国府小学校旧屋内運動場解体等整備工事施工監理業務

受注者 : 共同企業体M

契約金額 : 金 294,000円 (内消費税等 14,000円)

履行期間 : 平成23年6月1日～平成23年10月10日

- ・ 国府小学校旧屋内運動場解体等整備工事費

受注者 : 株式会社 石吉組

契約金額 : 金 15,878,100円 (内消費税等 756,100円)

工期 : 平成23年6月1日～平成23年10月10日

【点検及び評価】

昨年の東北大震災を受け、工事に合わせて、裏山への避難通路の整備を行った。東小学校は低地に位置するため、この避難路を使用し、有意義な避難訓練を実施できている。環境の変化に対応した現場対応ができたと考える。

2、小学校介助員等配置事業費 88,710,100 円 【学校教育課】 (内、緊急雇用創出事業 37,497,882円)

小学校臨時職員の配置

1) 介助員

特別支援学級の対象児童や普通学級における要支援対象児童を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数(延) 31人、賃金 51,107,180円、旅費 105,038円

2) 教育活動サポート員

学校生活の充実のため、教育環境の整備・学習内容の理解のサポートに支援員を配置した。

人数(延) 15人、賃金 18,206,860円、旅費 29,539円

3) 学校運営支援員

学校において教職員が児童と向き合う時間を確保し、学校運営全般を円滑に実施するため、学校運営支援員を配置した。

人数(延) 13人、賃金 17,091,315円、旅費 53,238円

4) 小学校英語教育補助員

英語を通じてコミュニケーションを図ろうとする能力や態度の育成を支援するため、小学校に英語教育をサポートする補助員を配置した。

施策の成果及び執行実績

人数(延) 2人、賃金 2,116,930円

【点検及び評価】

介助員等の配置については、各学校や園からの要望を受け、就学指導委員会で検討し、支援を要する児童に対し十分とまではいかないものの配置することができたが、年々支援を要する児童が増加傾向にあり、特別に支援を要する児童にきめ細かく対応することが求められることから、預かり保育を含め今後においても、介助員等の配置について検討していく必要がある。

なお、この事業については、直接的には支援を必要とする児童対応であるが、間接的には他の児童の学力保障にもなっていることから大変有意義な事業と考える。

3、小学校施設管理費・・・・・・・・・・・・・・・・ 42,262,887 円【教育総務課】

小学校の施設管理のため、軽微な修繕のための修繕料は小学校に配分し、緊急対応分を保有して修繕を行った。浄化槽・電気設備・消防設備などの点検委託を行い、施設維持を行った。また、浜島小学校のスクールバスの適正管理のため、浜島地区教育施設整備基金(5,948千円)を活用し、車庫の建設を行った。

□ 主な契約

- ・ スクールバス車庫設置工事実施設計業務
受注者 : 阪本建築設計事務所
契約金額 : 金 882,000円(内消費税等 42,000円)
履行期間 : 平成23年4月27日～平成23年7月30日
- ・ 浜島小学校スクールバス車庫設置工事施工監理業務
受注者 : 阪本建築設計事務所
契約金額 : 金 299,250円(内消費税等 14,250円)
履行期間 : 平成23年9月20日～平成23年12月13日
- ・ 浜島小学校スクールバス車庫設置工事
受注者 : 有限会社 泊工務店
契約金額 : 金 4,725,000円(内消費税等 225,000円)
工期 : 平成23年9月20日～平成23年12月22日

4、小学校学事庶務振興費・・・・・・・・・・・・・・・・ 33,855,990 円【学校教育課】

小学校に在学する児童で経済的な理由により就学困難と認められる児童の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費(学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ)等に支給を行った。特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる児童に支給を行った。

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な児童の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが、引き続き市における施策の実施が必要である。

5、光をそそぐ教育備品購入事業費 4,585,080 円 【教育総務課】

平成22年度の地域活性化交付金を活用し、繰越事業として小学校の図書備品1,172冊を購入した。

【点検及び評価】

読書活動の充実が求められる中、平素十分な図書費を充当できていなかったため、学校から大いに喜ばれ、また、図書館運営補助員事業と併せて、魅力ある図書館づくりに寄与できた。

6、小学校耐震化・大規模改造事業費 7,543,200 円 【教育総務課】

鵜方小学校校舎大規模改造事業実施設計・磯部小学校屋内運動場耐力度調査及び校舎大規模改造実施設計・神明小学校校舎大規模改造基本設計を行った。国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業として、鵜方小学校校舎大規模改造工事を3月補正で計上し、平成24年度に繰越をした。

□ 主な契約

- ・ 鵜方小学校校舎大規模改造工事実施設計業務
受注者 : 一級建築士事務所 箕浦設計
契約金額 : 金 2,971,500円 (内消費税等 免税)
履行期間 : 平成23年5月25日～平成24年2月17日
- ・ 磯部小学校校舎大規模改造工事実施設計業務
受注者 : 向井照雄建築事務所
契約金額 : 金 777,000円 (内消費税等 免税)
履行期間 : 平成23年10月26日～平成24年3月23日
- ・ 磯部小学校屋内運動場耐力度調査業務
受注者 : 一級建築士事務所 箕浦設計
契約金額 : 金 1,138,200円 (内消費税等 免税)
履行期間 : 平成23年8月1日～平成23年10月31日
- ・ 神明小学校校舎大規模改造工事基本設計業務
受注者 : 建築設計 間34
契約金額 : 金 2,656,500円 (内消費税等 免税)
履行期間 : 平成23年11月1日～平成24年3月23日

施策の成果及び執行実績

7、小学校改築事業費 322,823,658 円 【教育総務課】

波切小学校校舎改築事業を行った。国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業として、平成24年度実施予定の継続事業を3月補正で計上し、平成24年度に繰越をした。

□ 主な契約

・ 波切小学校校舎改築工事施工監理業務

受注者 : 日新・ナカムラ・瀧鼻共同企業体
契約金額 : 金16,201,500円 (内消費税等771,500円)
H23 6,478,500 円
H24 9,723,000 円 (H23繰越分)

履行期間 : 平成23年6月14日～平成25年2月28日

・ 波切小学校校舎改築工事意図伝達業務

受注者 : 前野・西沢特定建築設計共同企業体
契約金額 : 金2,352,000円 (内消費税等112,000円)
H23 940,800 円
H24 1,411,200 円 (H23繰越分)

履行期間 : 平成23年6月14日～平成25年2月28日

・ 波切小学校校舎改築工事 (建築工事)

受注者 : 石吉・坂下特定建設工事共同企業体
契約金額 : 金604,705,500円 (内消費税等28,795,500円)
H23 241,500,000 円
H24 363,205,500 円 (H23繰越分)

工期 : 平成23年6月10日～平成25年2月28日

・ 波切小学校校舎改築工事 (電気設備工事)

受注者 : シンフォ・東山特定建設工事共同企業体
契約金額 : 金67,893,000円 (内消費税等3,233,000円)
H23 36,946,500 円
H24 30,946,500 円 (H23繰越分)

工期 : 平成23年6月14日～平成25年2月28日

・ 波切小学校校舎改築工事 (機械設備工事)

受注者 : 前橋・向原特定建設工事共同企業体
契約金額 : 金93,765,000円 (内消費税等4,465,000円)
H23 28,140,000 円
H24 65,625,000 円 (H23繰越分)

工期 : 平成23年6月14日～平成25年2月28日

・ 波切小学校校舎改築工事に伴う関連施設工事

受注者 : 畑中建設工業 (株)
契約金額 : 金4,494,000円 (内消費税等214,000円)

施策の成果及び執行実績

工期 : 平成23年5月9日～平成23年7月20日

【点検及び評価】

老朽化が著しい波切小学校の改築工事を行った。また、再編後も使用する小学校の事業について、国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、校舎等の延命を図ることと併せて、市の財政負担の軽減を図ることができた。今後もこのような国の施策を注視して有利なものを有効活用していきたい。

施策の成果及び執行実績

Ⅲ 中学校費

- 1、中学校介助員等配置事業費 24,233,263 円 【学校教育課】
(内、緊急雇用創出事業 24,233,263円)

中学校臨時職員の配置

1) 教育活動サポート員

学校生活の充実のため、教育環境の整備・学習内容の理解のサポートに支援員を配置した。

人数(延) 9人、賃金 15,054,790円、旅費 148,985円

2) 学校運営支援員

学校において教職員が生徒と向き合う時間を確保し、学校運営全般を円滑に実施するため、学校運営支援員を配置した。

人数(延) 8人、賃金 8,939,040円、旅費 90,448円

【点検及び評価】

小学校介助員等配置事業と同じ。

- 2、中学校施設管理費 108,207,073 円 【教育総務課】

中学校の施設管理のため、軽微な修繕のための修繕料は中学校に配分し、緊急対応分を保有して修繕を行った。浄化槽・電気設備・消防設備などの点検委託を行い、施設維持を行った。浜島中学校校舎等改修事業は浜島地区教育施設整備基金(69,094千円)を活用した。

□ 主な契約

- ・ 東海中学校校舎等改修工事

受注者 : クロノス 株式会社

契約金額 : 金 6,563,550円 (内消費税等 312,550円)

工期 : 平成23年7月1日～平成23年8月31日

- ・ 浜島中学校校舎等改修工事費

受注者 : 株式会社 山下組

契約金額 : 金 66,163,650円 (内消費税等 3,150,650円)

工期 : 平成23年6月16日～平成23年9月30日

- 3、きめ細かな教育総務管理費 31,452,750 円 【教育総務課】

平成22年度の地域活性化交付金を活用し、繰越事業として文岡中学校校舎屋上防水等改修事業を実施した。

施策の成果及び執行実績

□ 主な契約

- ・ 文岡中学校校舎屋上防水等改修工事施工監理業務
受注者 : 瀧鼻設計事務所
契約金額 : 金 294,000円 (内消費税等 免税)
履行期間 : 平成23年7月1日～平成23年9月30日
- ・ 文岡中学校校舎屋上防水等改修工事
受注者 : 畑中建設工業 株式会社
契約金額 : 金 31,158,750円 (内消費税等 1,483,750円)
工期 : 平成23年7月1日～平成23年9月30日

【点検及び評価】

地域活性化交付金を活用することで、校舎の延命と共に市の財政負担の軽減を図ることができた。

4、中学校学事庶務振興費 37,284,083 円 【学校教育課】

中学校に在学する生徒で経済的な理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対して学用品費、給食費、修学旅行費、医療費(学校健診により学校保健法に基づく疾病のみ)等に支給を行った。特別支援教育就学奨励費については、特別支援学級にいる生徒に支給を行った。

【点検及び評価】

経済的な理由により就学が困難な生徒の保護者に対し必要な援助を行い、憲法、教育基本法に定める教育の機会均等の趣旨に沿った施策であり、成果向上に大きく貢献する施策である。平成17年度より準要保護の国庫補助制度が無くなっているが引き続き市における施策の実施が必要である。

5、光をそそぐ教育備品購入事業費 2,893,731 円 【教育総務課】

平成22年度の地域活性化交付金を活用し、繰越事業として中学校の図書備品896冊を購入した。

【点検及び評価】

小学校の光を注ぐ教育備品購入事業と同じ。

6、中学校耐震化・大規模改造事業費 8,016,250 円 【教育総務課】

施策の成果及び執行実績

波切中学校校舎大規模改造事業実施設計・文岡中学校屋内運動場耐震化工事実施設計を行った。

国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業として、波切中学校校舎大規模改造工事・文岡中学校屋内運動場耐震化工事を3月補正で計上し、平成24年度に繰越をした。

□ 主な契約

- ・ 波切中学校校舎大規模改造工事実施設計業務

受注者 : 勝田建築設計事務所

契約金額 : 金 3,965,850円 (内消費税等 免税)

履行期間 : 平成23年4月28日～平成24年2月24日

- ・ 文岡中学校屋内運動場耐震補強等改修工事実施設計業務

受注者 : 浦谷建築設計事務所

契約金額 : 金 4,019,400円 (内消費税等 免税)

履行期間 : 平成23年5月6日～平成24年1月15日

【点検及び評価】

今年度は実施設計のみであったが、再編後も使用する中学校の事業について、国の3次補正に伴う学校施設環境整備事業を活用することで、市の財政負担の軽減を図ることができた。

施策の成果及び執行実績

IV 幼稚園費

1、幼稚園介助員等配置事業費 24,348,205 円 【学校教育課】

幼稚園臨時職員の配置

1) 介助員

特別支援を要する幼児を支援するために、生活面でのサポートを行う介助員を配置した。

人数(延) 13人、賃金 24,342,305円、旅費 5,900円

【点検及び評価】

小学校介助員等配置事業と同じ。

2、幼保一体化施設整備事業費 111,250,999 円 【教育総務課】

浜島幼稚園を幼保一体化施設「浜島幼保園」として平成24年度より開設できるよう、浜島地区教育施設整備基金(111,028千円)を活用して整備した。

□ 主な契約

- ・ 浜島地区幼保一体化施設整備工事施工監理業務

受注者 : 有限会社 松森建築設計事務所

契約金額 : 金 493,500円(内消費税等 23,500円)

履行期間 : 平成23年6月20日～平成23年12月28日

- ・ 浜島地区幼保一体化施設整備工事

受注者 : 株式会社 坂下工務店

契約金額 : 金 109,543,350円(内消費税等 5,216,350円)

工期 : 平成23年6月20日～平成23年12月28日

【点検及び評価】

保育所・幼稚園の一体化を目指すための「志摩市立保育所・幼稚園再編計画」に基づき、浜島幼保園の整備を行った。浜島幼稚園園舎の有効活用も目的に、これからの少子化に対応した施設整備が行えた。

3、光をそそぐ教育総務管理費 887,383 円 【教育総務課】

平成22年度の地域活性化交付金を活用し、繰越事業として幼稚園の図書備品447冊を購入した。

【点検及び評価】

小学校の光を注ぐ教育備品購入事業と同じ。

施策の成果及び執行実績

V 社会教育費

1、社会教育総務費 1,819,371 円【生涯学習人権教育課】

①生涯学習の体制整備及び推進

社会教育委員 委嘱…10人

社会教育委員報酬 33,000 円 (5,500円×6人)

社会教育委員会議を1回開催した。

②成人式の開催

「成人式典」の開催 平成24年1月8日 志摩文化会館 出席者：新成人 501人

※阿児アリーナ改修中のため、志摩文化会館で行った。

報償費 408,737 円 (成人式典記念写真)

委託料 131,785 円 (会場地内臨時交通警備、新成人送迎業務)

③社会教育団体等の育成支援

志摩市女性の会連合会補助金 625,000 円

【点検及び評価】

成人式については、20歳という節目を迎えた青年に、これからの生きがいや人生設計を考え、また地域の同世代とのふれあいのなかで団結を高めてもらうこと及び「ふるさと志摩」を愛する心を育むことを目的に式典を開催したことにより、青年層の意識の高揚と活動の活性化に向けてのひとつの節目になる事業と考える。

2、青少年育成特別対策事業費 3,026,390 円【生涯学習人権教育課】

①青少年補導センター事業

問題青少年及び青少年非行集団の早期発見活動として、各地区での街頭・巡回補導、合同補導の実施、早期補導活動に向けた全体会議等の開催を行った。

青少年補導員委員報酬 計 671,500 円

1) 青少年補導センター補導員 委嘱…43人

2) 地区巡回の実施(通年)

・合同補導 1回、延べ 11人

・地区巡回 147回、延べ 177人

委員報酬 314,000 円 (2,000円×延べ157人)※月当たり2,000円上限

3) 協議・情報交換等会議の開催

全体会議を2回開催した。

委員報酬 357,500 円 (5,500円×延べ65人)

施策の成果及び執行実績

②青少年育成事業

青少年の健全育成に向けた事業の実施を地域の団体に委託した。

青少年育成事業委託料 1,042,000 円 (契約相手方:志摩市青少年育成市民会議)

③青少年団体等の育成支援

1) 連合青年団補助金 500,000 円

2) 青少年育成市民会議補助金 765,090 円

【点検及び評価】

青少年補導センター事業は、地域における青少年の健全な育成と、非行化の未然防止並びに早期発見・早期補導活動のための重要な事業であり、全体会議による意見交換や合同補導活動等による非行防止などの取り組みにより、現在のところ、大きな非行や問題行動が発生していない。今後も、地域の青少年は地域で見守る活動を大切にしていきたい。

3、しまこどもセンター事業費 331,642 円【生涯学習人権教育課】

学校・関係機関・各種団体が連携・協力を行い、安全・安心な活動拠点(居場所)を確保するとともに、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。

①しまこどもセンター活動推進協議会の開催

委員報償費 40,000 円 (2,000円×延べ20人)

しまこどもセンター活動推進協議会委員 委嘱・・・24人

しまこどもセンター活動推進協議会を2回開催した。

②しまこどもセンター事業の実施

報償費 109,000 円 (講師謝礼)

1) 本部事業

・平成23年8月30日 ジュニアリーダー研修(ともやま公園 他) 対象者22人参加

・平成24年3月20日 勾玉づくり体験教室(磯部生涯学習センター) 74人参加

2) 大王地区事業(サンサンキッズ大王)

・書道教室を3回開催 延べ70人参加

3) 志摩地区事業(志摩たちごクラブ)

・書道教室を11回開催 延べ200人参加

・しめなわ作り教室 49人参加

4) 阿児地区事業(ドキ・ワク阿ミ～児)

・平成23年12月23日 ドキ・ワクいも煮会(障がい者支援施設「はばたき」) 118人参加

【点検及び評価】

地域の教育力向上を図るため、地域・家庭・学校・各種団体等が連携・協力し、様々な体験活動や地域住民との多彩な交流活動を実施した。子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を確保するとともに、青少年の健全育成の一助になったと考える。また、情報交換の観点からも有効であった。

施策の成果及び執行実績

4、放課後子ども教室推進事業費 …………… 407,755 円【生涯学習人権教育課】

①放課後子ども教室推進事業の実施

放課後対策事業として、地域のボランティアの協力を得て事業を実施した。

報償費 228,000 円

需用費 82,000 円

1)放課後子どもプラン運営委員会の開催

放課後子どもプラン運営委員 委嘱…17人

放課後子どもプラン運営委員会を3回開催した。

2)放課後子ども教室の開催

磯部小学校区 15回 延べ 518人参加

成基小学校区 13回 延べ 117人参加

的矢小学校区 16回 延べ 79人参加

②歳入の状況

放課後子どもプラン補助金(県補助金) 248,000 円

【点検及び評価】

放課後や長期休暇に小学校内外の施設を利用して、地域の皆さんの参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・住民との交流などの取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境（居場所）づくりを推進した。学校の授業数の増加などで、放課後の時間確保が困難な状況となってきた。

5、文化財保存費 …………… 2,734,942 円【生涯学習人権教育課】

文化財愛護思想の啓発を図り、地域の文化財の保護顕彰に努め、各種調査や研究活動を推進し、有効活用を図りながら、志摩市の文化及び歴史の保存と郷土伝統芸能の継承に努めた。

①文化財調査委員会

文化財調査委員会委員：15人 任期：2年

<会議の開催状況>

	第1回	第2回	第3回	研修会
開催日	H23年5月24日	H23年10月6日	H24年3月14日	H23年11月15日
開催場所	市役所	市役所	市役所	志摩町

②志摩文化財調査保護委員協議会

	理事会	総会・研修会
開催日	H23年9月29日	H23年10月28日
開催場所	鳥羽市	鳥羽市文化会館

③指定文化財・埋蔵文化財の保護

・埋蔵文化財包蔵地確認業務 502件

施策の成果及び執行実績

・埋蔵文化財包蔵地における土木工事等の発掘届出書及び通知書提出における文化財調査等を行った。

調査の種類	件数	備考
発掘調査	0	
範囲確認調査	1	国府貝塚
工事立会	9	

・文化財保護の周知活動

広報しま11月号及び志摩市ホームページに「開発予定地の埋蔵文化財包蔵地の確認・調査はお済みですか？」を掲載し、埋蔵文化財の保護に対する理解を図った。他には、文化財（仏像等）の盗難事例が全国的に発生しているので、ケーブルテレビにて注意を呼びかけた。

【点検及び評価】

埋蔵文化財の保護・啓発については、周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡等）に、一般住宅や市の施設等の建築工事等が増加しつつあるので、広報「しま」を活用した情報発信を行うとともに、建築関係団体や農業委員会窓口でのチラシ配布を依頼し、保護啓発に努めた。限りある財源の中で、今後も保護・啓発について、様々な工夫をしながら、努力していく必要があると考える。

④文化財の保存・伝承に対する助成（補助金交付額）

事業名	補助金額（円）
わらじ祭り保存事業	400,000
大般若経保存事業（片田）	30,000
大般若経保存事業（立神）	30,000
安乗人形保存伝承奨励事業	200,000
安乗人形芝居文化財修繕事業	557,000
安乗人形芝居文化財活用事業	25,000
ささら踊り用具等修繕事業	134,000

【点検及び評価】

文化財保存団体への助成については、保存・伝承・修理等に有効活用されている。

郷土伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援では、「安乗の人形芝居」は平成21～23年度の3カ年事業が終了した。長年の使用による損傷のため使用できなかった「かしら」や「手」がきれいに復元でき、上演できる演目も増やすことができた。

その活用事業では保存会と協力し、市内の小中学校へ出向き、伝統文化の体験教室を行った。児童・生徒にじかに体験できる機会を作れたことは良かった。今後も継続していく予定である。

平成22年の立神薬師堂の火災により焼失した県指定文化財「ささら踊り」の用具は新調復元し、8月に陣ばやしを開催でき、地元にも貢献できた。

文化財の保存・伝承について、県や国はもとより、その他の補助メニューを注視していきたい。

施策の成果及び執行実績

⑤文化財の防火査察、消防設備等の点検

・防火査察

実施日	実施箇所			
1月26日	和具観音堂	旧越賀村郷蔵	越賀の舞台	船越地区公民館
	国分寺	正覚山龍泉寺	玉泉庵・十王堂	安乗寺
	福壽寺	市立図書館	—	—
1月27日	旅館 中六	磯部図書館 郷土資料館	—	—

・消防設備点検

実施日	実施箇所			
2月17日	旧越賀村郷蔵	越賀の舞台	—	—

【点検及び評価】

文化財防火査察等を行い、文化財の保護・顕彰に努めた。1月26日には、国府国分寺が自治会・志摩広域消防署・地元消防団と協力して防火訓練を行ったので、市教委も立ち合った。

文化財保護の意識を高めるため、引き続き、関係機関と連携を深めつつ、啓発を行う必要がある。

⑥郷土の伝統芸能の保存・継承と後継者育成への支援（補助金交付額）

事業名	補助金額（円）
安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業	360,000

【点検及び評価】

安乗中学校文楽クラブ太夫・三味線養成事業に助成することにより、「安乗の人形芝居」の保存・伝承のために文楽太夫・三味線の養成を図った。これにより育った青年が、小学生や中学生を指導してくれることが望ましい。

6、文化交流費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,635,000 円 【生涯学習人権教育課】

○優れた芸術・文化を鑑賞する機会を提供し、普段接することのできない高いレベルの芸術・文化にふれることにより、文化意識や意欲の向上と豊かな情操、郷土愛の心を育む。

また、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援する。

・文化振興団体の育成

補助団体	補助金額（円）	会員数
志摩市文化協会	1,620,000	1,620人 (市内5支部総数)

※平成20年7月13日、それまでの志摩市文化協会連絡協議会から志摩市文化協会として設立した。設立後は、地域文化の創造と振興を目標とし活動しているが、現在は各支部の活動に重点をおきながら事業を進めている。

市全体の活動としては、平成23年度は各種運営委員会と役員会を開催した。

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

志摩市文化協会に補助金を交付し、市民自らが参加する芸術文化活動の振興を支援するとともに、地域文化の創造と振興を図ることができた。

また、文化振興事業については、普段接することのできないすぐれた芸術作品を鑑賞する機会を提供することで、文化に対する意識や意欲の向上と豊かな情操・郷土愛を育むことができると考えられるため、今後も市内外の文化団体と連携をしながら、事業を計画立案しその開催に努めていく必要がある。

7、歴史民俗文化資料等整理事業費 8,075,265 円 【生涯学習人権教育課】

○歴史民俗文化資料等整理事業（緊急雇用創出基金事業）

市内各所に点在している資料（民具等）の整理を実施し、資料の保存・伝承への基盤整備を図るとともに、あわせて雇用の創出も図る。また、このことにより資料の普及・公開・活用等の事業が可能になり、これを契機として、市民の歴史・民俗・文化への関心を高め、ふるさと「志摩」への愛着を図るとともに、歴史・民俗・文化に根ざした地域づくりに資することも目的とした。

具体的には、合併前に旧町単位で保管されていた民具等の資料台帳や目録を作成し、歴史民俗資料館で展示できるように保管・管理した。磯部郷土資料館で保管されていた収蔵物についても、写真データを追加した。

また、屋外資料（古墳・建造物・民俗芸能実施場所等）の環境整備も行った。

・民具収蔵データ内容

（平成24年3月31日現在）

種類	件数	種類	件数
生活	5,389	職人	942
農具	1,675	戦争関係	276
漁具	1,459	不明	85
その他	1,104	—	—
合計			10,930

【点検及び評価】

市内の各所に散在していた資料を旧迫塩小学校を活用して整理し、資料の保存・伝承への基盤整備を図った。このことにより、資料の普及・公開・活用等の事業が可能となり、これを契機として、市民の歴史・民俗・文化への関心を高め、ふるさと「志摩」への愛着を図るとともに、歴史・民俗・文化に根ざした地域づくりに資することを推進したい。

散在していた民具等を保存管理するため、台帳や目録を作成した。台帳にはサイズ（縦・横・高さなど）と写真を掲載し、使い易い台帳の作成に努めた。

他には、屋外資料（古墳・建造物・民俗芸能実施場所等）の環境整備も実施した。今後は、収蔵品の紹介や志摩市歴史民俗資料館への展示などで、市内外に発信していきたい。

8、出土遺物保存処理事業費 3,350,540 円 【生涯学習人権教育課】

○出土遺物保存処理事業

昭和42年に旧阿児町が発掘した三重県指定史跡「おじよか古墳」の出土遺物は、平成6年に、地元志島公民館から阿児ライブラリーに移し、一部を展示していた。

しかし、出土後40年余りが経過する中、刀や鎌等の鉄製品の劣化が著しく、貴重な遺物の展示はもとより将来の保存・活用も危機的な状況にあった。

施策の成果及び執行実績

平成20年に出土遺物の保存処理等に300万円の寄付を受けたことにより、市はこれを活用し事業を実施している。平成22年度から3年計画で事業を進めており、平成22年度には24点を保存処理し、続いて平成23年度は10点を選び保存処理した。

契約名：出土遺物保存処理業務委託

年度	契約相手方	契約金額（円）	遺物の内容
22	(財)元興寺文化財研究所	2,973,600	24点 方格規矩鏡、斧、鎌、直刀、劍、槍、鏃、刀子、棺釘、蕨手刀子、半球状金銅製品
23	(財)元興寺文化財研究所	3,305,400	10点 斧、直刀、劍、鏃

【点検及び評価】

出土遺物保存処理事業は、おじよか古墳から出土した金属製品の防錆処理ならびに樹脂含新・樹脂塗布等による強化や復元などを行った。3年計画の事業の2年目である。

保存処理済みの鉄器類については、今後腐食しないよう保存や管理に十分気を付けるとともに、歴史民俗資料館での展示により、広く市民に公開して行く予定である。市内各学校に対しては、出前授業の形式により、間近に見て触れてもらえる機会作りに努めていく。

9、光をそそぐ歴史民俗資料館整備事業費・・・ 81,485,085 円 【生涯学習人権教育課】

○国の地域活性化交付金（住民生活に光をそそぐ交付金）を活用し、磯部支所を志摩市歴史民俗資料館として改修し、平成24年7月の開館に向け、改修工事のほか施設整備を行った。平成22年度繰越事業である。

契約名	契約相手方	契約金額（円）
志摩市歴史民俗資料館整備工事	畑中建設工業（株）	71,416,800
志摩市歴史民俗資料館整備工事 施工監理業務	阪本建築設計事務所 阪本 保	766,500
志摩市歴史民俗資料館整備工事に伴う 電算システム移設業務委託	(株) 松阪電子計算センター	1,256,330
磯部図書室移転に伴う 図書システム移設業務	(株) 松阪電子計算センター	549,360
志摩市歴史民俗資料館整備工事に伴う 引越し業務	ミナミ運輸（有）	1,050,000
志摩市歴史民俗資料館整備事業 展示設計施工業務委託	(株) 日展名古屋支店	4,998,000

【点検及び評価】

財政健全化アクションプログラムに基づき、磯部支所を志摩市歴史民俗資料館に施設整備し、展示資料等を展示スペースに効果的に配置及び陳列するため、それにとりまなうパネル作成やジオラママップ等の委託も行った。

施策の成果及び執行実績

10、志摩文化会館施設費 13,768,216 円【生涯学習人権教育課】

・利用状況

月	件数	市外件数	営利件数	減免件数	利用者数
4	58	3	3	21	715
5	65	6	5	26	1,330
6	62	5	4	21	1,387
7	50	6	5	20	980
8	47	4	3	17	781
9	52	7	6	16	687
10	81	3	6	34	4,377
11	71	8	7	33	4,061
12	54	5	5	20	737
1	53	3	3	18	2,399
2	61	3	3	30	1,841
3	65	5	4	26	1,623
計	719	58	54	282	20,918

・志摩文化会館使用料 1,465,850 円

・光熱水費 (単位:円)

項目／年度	前年度	当年度
電 気	3,099,882	3,627,015
水 道	104,702	138,071
ガ ス	638,947	929,560
合 計	3,843,531	4,694,646

【点検及び評価】

地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、地域住民の生涯学習を中心とした活動拠点として努めた。また、23年度10月からは施設内に志摩支所が併設され、様々な住民サービスに努めている。

施策の成果及び執行実績

11、阿児アリーナ施設費 71,102,004 円【生涯学習人権教育課】

・利用状況

月	件数	市外件数	営利件数	減免件数	利用者数
4	132	7	5	48	4,369
5	151	17	9	59	8,140
6	171	17	12	75	5,435
7	178	12	11	76	5,335
8	155	28	12	63	5,888
9	155	23	12	57	4,113
10	135	14	5	57	7,520
11	124	13	7	52	6,397
12	87	8	5	36	8,479
1	107	7	18	47	2,423
2	121	11	16	54	4,350
3	109	11	11	45	4,372
計	1,625	168	123	669	66,821

・阿児アリーナ使用料..... 5,275,850 円

○阿児アリーナ開館20周年記念事業 409,902 円

※阿児アリーナ開館20周年記念事業として、以下の4つの事業を開催した。

【内訳】 報消費 27,000 円
 需用費 227,842 円
 役務費 42,360 円
 委託料 112,700 円

- ① 三重ジュニア管弦楽団in阿児アリーナ～二十歳のanniversary～
 開催日:11月5日(土) 場所:阿児アリーナ ベイホール 参加者:450人
 共催:三重県文化会館
- ② 文楽レクチャーin志摩 文楽はじめの一步!
 開催日:1月28日(土) 場所:市立図書館 アートホール 参加者:82人
 共催:三重県文化会館
- ③ 文楽バスツアー(三重県文化会館へ人形浄瑠璃「文楽」公演観劇ツアー)
 開催日:3月17日(土) 昼の部1便・夜の部1便運行 参加者:30人
 共催:三重県文化会館
- ④ ミエ・ユース・ウィンド・オーケストラ特別演奏会in志摩

施策の成果及び執行実績

開催日:3月25日(日) 場所:阿児アリーナ ベイホール 参加者:377人
 共催:三重県文化会館・新日本フィルハーモニー交響楽団

○阿児アリーナ耐震等改修工事

※オーシャンホールの吊天井の崩落(耐震)対策が未施工のため、早急に改修を行い防災機能を強化することで安全性を図る。

- ・ 委託料
 耐震等改修工事施工監理業務委託料 299,000 円
- ・ 工事請負費
 耐震等改修工事費 46,671,450 円

○エネルギー使用料

※省エネ対策として館内節電の実施、節水の励行、空調温度管理の徹底等を行った。

(単位:円)

項目/年度	前年度	当年度
電 気	5,646,928	4,617,049
水 道	613,323	554,490
下 水 道	448,335	386,638
ガ ス	89,550	96,280
合 計	6,798,136	5,654,457

12、きめ細かな阿児アリーナ施設費 5,281,500 円【生涯学習人権教育課】

○地域活性化(きめ細かな交付金)事業(繰越分)

市の生涯学習、文化等の拠点施設である阿児アリーナの老朽化が進んでいる箇所の延命化および保全対策として、地域活性化事業を利用し、既存の調光設備の更新工事を行った。

阿児アリーナ調光設備更新工事

※ベイホール調光操作卓及び舞台袖操作盤の更新工事

- ・ 委託料
 調光設備更新工事設計監理業務委託料 294,000 円
- ・ 工事請負費
 調光設備更新工事費 4,987,500 円

【点検及び評価】

市の中核的な生涯学習施設として、多様な市民ニーズに対応した様々な事業を行なった他、国の事業を活用して施設の整備充実を進め、安全・安心な施設運営に努めた。

施策の成果及び執行実績

13、磯部生涯学習センター施設費 4,234,388 円【生涯学習人権教育課】

・利用状況

月	件数	市外件数	営利件数	減免件数	利用者数
4	60	0	0	13	850
5	72	4	3	27	952
6	104	7	1	47	2,259
7	77	7	1	36	2,134
8	79	4	1	41	1,689
9	71	7	1	34	2,046
10	81	4	1	41	1,329
11	84	4	0	49	3,077
12	67	10	2	28	1,682
1	85	2	1	44	1,792
2	83	2	2	41	2,637
3	87	6	0	37	1,751
計	950	57	13	438	22,198

・磯部生涯学習センター使用料..... 1,231,200 円

【点検及び評価】

地域の教育や文化の発展及び向上を図るため、地域住民の生涯学習を中心とした活動拠点として努めた。また、施設の有効活用をはかるため施設内に志摩市歴史民俗資料館が併設されることになり、開館に備えての準備に協力した。

14、公民館費 20,890,142 円 【生涯学習人権教育課】

①公民館講座の開催

市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として生涯学習講座を開催した。

報償費 計 3,300,000 円（全地区公民館講座講師謝礼）

施策の成果及び執行実績

1) 各地区公民館の講座実施状況

施設名	種別	講座数 (講座)	生徒数 (人)	開催回 数(回)	延べ参 加者数 (人)	報償費 (円)	備考
浜島公民館	成人学級	13	138	134	1,509	631,000	
	高齢者学級			7	453		つるかめ大学
大王公民館	婦人学級	5	63	50	520	610,000	
	成人学級	7	148	80	1,126		
鶉方公民館	婦人学級	1	10	37	317	935,000	
	成人学級	18	232	371	3,349		
志摩公民館	成人学級	11	200	146	1,387	570,000	
	高齢者学級			11	524		はまゆう大学
磯部公民館	成人学級	11	204	172	1,785	554,000	
	高齢者学級			3	257		くすのき講座

2) 収入の状況

公民館講座受講料 1,029,000 円 (全地区全講座合計)

1人1講座につき1,000円×1,029人

(内訳) 浜島地区…140,000円、大王地区…215,000円、志摩地区…229,000円、
阿児地区…241,000円、磯部地区…204,000円

②公民館、陶芸館の管理運営

1) 利用状況

	施設名	使用件数(件)	使用人数(人)
公民館	浜島公民館	909	10,586
	大王公民館	541	11,197
	鶉方公民館	1,152	15,143
陶芸館	阿児陶芸館	142	1,318
	浜島陶芸館	82	876

2) 施設環境整備

・施設修繕料 1,496,753 円

浜島公民館 浄化槽(水中ブロー)修繕 399,000円、

浜島公民館 高圧ケーブル入替 299,880円

大王公民館 機械室Aダクト工事 225,960円、

大王公民館 大会議室チャンバー消音修繕 140,700円、

鶉方公民館 大会議室カーテンレール取替 31,500円、他

・備品修繕料 105,228 円

阿児陶芸館 土練機修理代 33,716円、他

施策の成果及び執行実績

3)経費

- ・臨時職員賃金 8,434,330 円
 - (内訳) 浜島公民館 1,851,560 円
 - 大王公民館 3,198,700 円
 - 鵜方公民館 3,384,070 円

- ・委託料 1,167,180 円
 - 浄化槽保守管理委託料 310,800円 志摩環境事業協業組合
(浜島・大王・鵜方公民館、浜島陶芸館)
 - 電気工作物保安管理委託料 210,420円 (財)中部電気保安協会 (浜島・大王公民館)
 - 施設警備保障システム委託料 189,000円 イセツ(株) (浜島公民館)
 - 火災報知設備等保守管理委託料 173,250円 日本ファシリオ(株)志摩営業所
(浜島・大王・鵜方公民館)
 - 防火対象物定期点検委託料 112,350円 日本ファシリオ(株)志摩営業所
(浜島・大王・鵜方公民館)

4)収入の状況

- ・公民館使用料 1,151,250 円
 - (内訳) 浜島公民館 185,100 円
 - 大王公民館 320,550 円
 - 鵜方公民館 645,600 円
- ・陶芸館使用料 190,559 円
 - (内訳) 阿児陶芸館 142,759 円
 - 浜島陶芸館 47,800 円

15、きめ細かな公民館費 20,075,223 円【生涯学習人権教育課】

市民が安全・快適に利用できるように館内の空調設備の改修を行った。

- ・委託料
 - 大王公民館空調設備改修工事設計監理業務委託料 882,000 円
- ・工事請負費 19,193,223 円
 - 大王公民館耐震等改修工事費

【点検及び評価】

基幹公民館における生涯学習講座及び貸館業務等については、市職員が直接的あるいは間接的に関わることにより、より適正かつ効率的な運営に向けての取り組みが図られている。

また、平成22年度より市内17箇所の地区公民館がコミュニティセンターに移行し、公民館長・公民館主事等が廃止されたが、それらの館における生涯学習講座は、各講座の講師及び受講生の自主的な運営に支えられて継続されている。

施策の成果及び執行実績

なお、基幹公民館等の各施設で行われている生涯学習講座の講座内容については、各地域特色のある講座を提供し、受講者から好評を得ているが、今後も、より多くの世代・性別の方に参加してもらえ魅力ある講座を企画し、受益者負担を原則に講座運営を行っていく必要がある。

16、阿児ライブラリー費 30,609,931 円【生涯学習人権教育課】

図書資料の収集・整理・保存・貸出を行い、利用者サービスの充実を図った。また、来館者が快適・安全に利用できるよう、設備の保守点検を行うとともに、親しまれる図書館づくりにむけて各種事業を行った。なお、市立図書館(阿児ライブラリー)では、情報提供の場として、コンピューター研修室の開放も継続して行った。

①自主事業

(市立図書館)

1) おはなし会

毎月第1土曜日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのふう」による絵本の読み聞かせやパネルシアター・エプロンシアターなどを行った。(夏休み期間中は盆を除き毎週土曜日開催。)

毎月第4月曜日開催。ボランティアグループ「こつぶっち」による赤ちゃん向けお話をを行った。

2) 朗天狗チャリティー読みあそびライブ

4月23日開催。「朗天狗」三浦伸也さんによる子どもを対象とした絵本の読み聞かせを行った。136人参加。読まなくなった絵本の収集と義援金の受付も行き、集まった2,640冊の絵本と、10,190円の義援金を東北の被災地へ届けた。

3) 子ども読書週間スタンプラリー

4月23日～5月12日開催。子ども読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ24人参加。

4) 出張よみきかせ

6月16日、3月21日開催。図書館職員が志摩子育て支援センターへ行き、手遊び、読み聞かせを行った。各日5組10人程参加。

5)七夕です。短冊にお願いしたい事を書こう！

6月18日～7月7日開催。来館者に願い事を短冊に書いてもらい、館内に設置した笹に飾った。

6)「東北を知ろう 東北へ行こう」月間 展示

7月21日～8月31日開催。東北に関する図書やパンフレット等を展示した。
三重県立図書館連携協力。

7) 夏休みスペシャルおはなし会

7月23日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのふう」による紙芝居の読み聞かせやエプロンシアター、影絵などを行った。62人参加。

8) 手作り絵本教室

7月29日開催。図書館職員が講師になり、参加者と絵本を作成した。14人参加。

施策の成果及び執行実績

9) 図書館探検&体験しよう

8月6日、8月18日開催。小学生を対象とした施設見学と、図書館の仕事体験を行った。各日5人参加。

10) 第14回図書館を使った“調べる”学習賞コンクール入選作品展示

8月18日～9月8日開催。図書館の学校・日本児童教育振興財団主催のコンクール。全国の学校・公共図書館から募集した作品で、入選作品の複製を展示した。

11) 読書週間スタンプラリー

10月28日～11月9日開催。読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞をわたした。幼児～中学生延べ28人参加。

12) 「よみきかせが上手になりたい！（乳幼児むけおはなし会のすすめ方）」講演会

12月10日開催。慈恵福祉保育専門学校非常勤講師 霜田美津子さんを講師に、読み手んで感想を書いてもらい、5冊読むと参加賞を渡した。幼児～中学生延べ28人参加。

13) おはなし会クリスマススペシャル

12月17日開催。ボランティアグループ「とっぴんぱらりのぷう」と図書館職員による読み聞かせ、ハンドベル演奏、影絵等を行った。約70人参加。

14) 講談社「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」

1月14日開催。講談社おはなし隊事務局ボランティアによるキャラバンカーの自由見学と、おはなし会を行った。約43人参加。

15) 「東北を記憶する」月間 写真展

3月1日～5月6日開催。津市在住の写真家・松原豊氏が岩手県大槌町で撮影した写真を展示した。三重県立図書館連携協力事業。

16) 電子書籍体験展示

3月8日～3月21日開催。電子書籍端末の体験展示を行った。三重県立図書館巡回展示。

17) 志摩人形劇フェスティバル

3月31日開催。志摩人形劇フェスティバル実行委員会主催(共催:志摩市教育委員会、志摩木曜倶楽部)の人形劇。約50人参加。

(志摩図書室)

1) よみきかせかい(赤ちゃん向け)

毎月第1水曜日開催。図書館職員とボランティアによる、絵本の読み聞かせや手遊びなどを行った。赤ちゃん～幼児、その保護者など毎回4人程参加。

2) よみきかせかい

毎月第4土曜日開催。ボランティアグループ(ピーターパンの会)による、絵本の読み聞かせやストーリーテリング、手遊び・指遊びなどを行った。幼児～小学生、その保護者など毎回6人程参加。

3) 子ども読書週間スタンプラリー

4月23日～5月12日開催。子ども読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、3冊読むと参加賞をわたした。幼児～中学生延べ12人参加。

4) 出張よみきかせ

6月16日、3月21日開催。図書館職員が志摩子育て支援センターへ行き、手遊び、読み聞かせを行った。各日5組10人程参加。

施策の成果及び執行実績

5) リサイクルフェア

5月と10月の第2土曜日・日曜日開催。保存期間の過ぎた雑誌や廃棄図書など421冊を、図書室来室者にリサイクルを行った。(5月は263冊、10月は158冊。)

6) 七夕まつり

7月5日～7日開催。来館者に願い事を短冊に書いてもらい、室内に設置した笹に飾った。

7) 手作り絵本教室

8月3日開催。図書館職員が講師になり、参加者と絵本を作成した。20人参加。

8) 読書週間スタンプラリー

10月28日～11月9日開催。読書週間にあわせて実施。図書館の本を読んで感想を書いてもらい、3冊読むと参加賞をわたした。幼児～中学生延べ7人参加。

9) クリスマスミニリース作り

12月3日開催。図書館職員が講師になり、参加者と「クリスマスミニリース」を作成した。8人参加。

10) 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

1月14日開催。講談社おはなし隊事務局ボランティアによるキャラバンカーの自由見学と、おはなし会を行った。約60人参加。

11) 「東北を記憶する」月間 写真展

3月1日～3月31日開催。津市在住の写真家・松原豊氏が岩手県大槌町で撮影した写真を展示した。三重県立図書館連携協力事業。

② 広報活動

- 1) 「広報しま」に図書館だよりを掲載。(全館室共通)
- 2) 志摩市立図書館ホームページでの情報発信。(全館室共通)
- 3) 「としょかんだより」を毎月発行。(市立図書館、志摩図書室)

③ 図書館運営

1) 平成23年度図書資料購入費	2,999,993 円	
(内訳) 市立図書館 図書資料	2,058,539 円	1,168 冊
市立図書館 視聴覚資料	32,130 円	2 点
志摩図書室 図書資料	417,284 円	333 冊
志摩図書室 視聴覚資料	32,040 円	9 点
磯部図書室 図書資料	460,000 円	296 冊

④ その他

(市立図書館)

1) 職場体験学習の受入

6月1日～6月3日	和具中学校 2年生 2人
7月25日～7月29日	志摩高等学校 2年生 2人
8月3日～8月4日	浜島中学校 2年生 3人
8月8日、8月10日	波切中学校 2年生 2人

施策の成果及び執行実績

8月17日～8月19日 安乗中学校 2年生 3人
 11月9日～11月11日 度会特別支援学校 1年生 1人

2) 社会見学での来館

5月12日 志島小学校 35人
 6月20日 鵜方小学校 6年生 84人

3) 移動図書館

市内の図書館(室)から居住地が遠く、利用が困難な小学校の図書館との連携をはかり、市内図書館(室)の図書資料を小学校に運搬し、通学する児童に貸出した。

的矢小学校、安乗小学校、船越小学校で実施。3校へ年間合計2,138冊貸出。

(志摩図書室)

1) 職場体験学習の受入

6月1日～6月3日 和具中学校 2年生 1人
 8月2日～8月4日 片田中学校 2年生 1人

2) 公共施設学習の受入

10月26日 片田小学校 2年生 11人

⑤図書館資料 (平成24年3月31日現在)

(単位:冊)

分類	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
0 総記	4,623	1,826	303	234	289	7,275
1 哲学	3,402	889	311	303	304	5,209
2 歴史	7,850	3,720	670	822	923	13,985
3 社会科学	13,369	3,435	992	665	1,131	19,592
4 自然科学	7,244	1,297	704	376	457	10,078
5 技術	9,411	1,388	1,009	441	598	12,847
6 産業	4,001	1,051	320	230	247	5,849
7 芸術	10,336	2,422	920	745	1,561	15,984
8 語学	2,172	465	177	105	168	3,087
9 文学	31,216	9,480	4,118	4,569	3,966	53,349
(内)郷土資料	3,203	5,693	707	499	477	10,579
一般書合計	93,624	25,973	9,524	8,490	9,644	147,255

施策の成果及び執行実績

分類	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
0 総記	489	145	69	55	150	908
1 哲学	308	22	49	35	26	440
2 歴史	1,322	300	384	115	198	2,319
3 社会科学	1,151	334	229	79	176	1,969
4 自然科学	2,183	678	502	229	312	3,904
5 技術	1,034	236	222	70	79	1,641
6 産業	591	231	152	27	46	1,047
7 芸術	1,184	421	385	80	192	2,262
8 語学	457	108	75	38	32	710
9 文学	10,098	2,146	2,223	757	1,798	17,022
E 絵本	9,604	2,638	2,348	698	1,125	16,413
紙芝居	711	511	145	55	91	1,513
児童書合計	29,132	7,770	6,783	2,238	4,225	50,148
図書合計	122,756	33,743	16,307	10,728	13,869	197,403
雑誌	2,170	1,588	665	176	36	4,635
視聴覚資料						
ビデオ	956	0	362	0	21	1,339
DVD	274	0	137	0	7	418
CD	1,980	0	700	0	0	2,680
カセット	319	0	0	0	0	319
視聴覚資料合計	3,529	0	1,199	0	28	4,756
全資料合計	128,455	35,331	18,171	10,904	13,933	206,794

⑥図書館利用状況 (平成23年4月～平成24年3月)

区分	市立	磯部	志摩	大王	浜島	合計
開館日数	286	246	285	307	303	1,427
貸出人数	32,861	3,241	7,707	280	351	44,440
貸出冊数						
一般書	82,887	6,255	11,586	672	580	101,980
郷土資料	30	280	22	0	0	332
児童書	34,994	5,216	7,911	174	465	48,760
雑誌	4,831	801	1,701	6	0	7,339
視聴覚資料	9,888	1	3,321	0	19	13,229
合計	132,630	12,553	24,541	852	1,064	171,640

⑦利用登録者数

地区	登録者数	地区	登録者数
阿児町	15,215	大王町	2,449
磯部町	3,086	浜島町	1,655
志摩町	3,831	その他	1,812
		合計	28,048

※平成24年3月31日
現在の1館4室全体の登録者数

施策の成果及び執行実績

⑧資料館収蔵資料

1) 歴史資料

17、磯部郷土資料館費 4,154,411 円【生涯学習人権教育課】

①資料館関連事業

地域資料の収集・保存・調査研究・展示事業・教育普及等、郷土資料館としての機能を果たすため、ボランティアの協力を得て次の事業を実施した。

1) 教育普及活動

図録作成事業..... 173,250円

古文書にみる江戸時代の志摩5「幕末の異国船騒動」
40P・A4版 500冊発行

古文書学習会の実施 毎月第3土曜日 会員17人

2) 企画展開催事業

端午の節句展 4/15～5/15

展示資料 明治時代～昭和50年代 の五月節句飾り 11組

先人に学ぶ「地震と大津波展」—安政の地震を中心に— 8/26～11/12

東日本大震災の発生を受け、市内に残された古文書をもとに津波の被害状況等を地図に示して展示。

展示資料 128点 会期中入館者 2,932人

3) 体験教室

事業名	開催日	成 果
エコバック作り	7月27日	参加 12人
絵手紙教室	7月29日	参加 5人
ふろしき講座	8月3日	参加 20人
東北被災地の報告	8月27日	参加 7人

4) 資料貸出・閲覧件数

貸出

貸出日	資料名	貸出先
5月1日	図録・安政の大地震と津波の遺訓	フジテレビ
5月6日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ	社会福祉協議会
5月14日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ	社会福祉協議会
5月26日	伊勢湾台風被害状況写真	都市計画課
6月1日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ	社会福祉協議会
6月3日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ	社会福祉協議会
7月27日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ6・1/6. 5	社会福祉協議会

施策の成果及び執行実績

8月4日	炭火アイロン・藁打ちきね・藁製なべつかみ	社会福祉協議会
9月1日	御田植祭DVD	伊勢市老人会
10月8日	磯部の御神田 田植絵図	グラフィック社
10月21日	嶋田青峰 写真2枚	議会事務局
12月14日	磯部地区昭和30年代写真 他	海の博物館
閲覧		
7月1日	浄瑠璃本・義経千本桜 他	早稲田大学

②図書館関連事業 ※統計関係は市立図書館(阿児ライブラリー)頁に記載

併設館としての特色を充分生かし「生涯学習の核」として、また親しみやすさを感じる館となるよう、次の事業を実施した。

1) 季節の絵本コーナー設置

	内 容		内 容
4月	春・端午の節句	10月	秋・森
5月	学校	11月	冬支度
6月	雨・カエル	12月	クリスマス
7月	課題図書	1月	雪・お正月
8月	課題図書	2月	節分・雛まつり・春の足音
9月	秋・運動会・遠足	3月	春の訪れ

2) 図書、雑誌リサイクルフェア

期 日:12月10日・11日
リサイクル対象:雑誌・・・279冊 図書・・・ 500冊

3) 社会見学での来館

6月24日 近畿日本鉄道主催のツアー 60人
8月28日 近畿日本鉄道主催のツアー 60人
9月15日 国府小学校 13人
11月4日 浜島小学校 33人
11月9日 浜島小学校 29人
12月6日 的矢小学校 2人

18、光をそそぐ阿児ライブラリー費 …………… 9,922,867 円【生涯学習人権教育課】

生涯学習の拠点である図書館の利用を促進するため、図書館資料の充実を図った。

施策の成果及び執行実績

図書等購入実績

区分		購入数	購入金額
図書	一般書	1,277 冊	-
	児童書	2,628 冊	-
	図書計	3,905 冊	8,389,642 円
AV資料	DVD	118 点	-
	CD	49 点	-
	AV資料計	167 点	1,205,205 円
合計		4,072	9,594,847 円

マーク等作成業務委託料

84円/件×3,905件=328,020円

【点検及び評価】

図書資料の収集・分類・保管を行い、利用者サービスの充実を図った。また、来館者が快適・安全に利用できるよう、設備の保守点検を行うとともに、親しまれる図書館づくりにむけて各種事業を行った。なお、情報提供の場として、コンピュータ研修室の開放も継続して行った。

また、市立図書館と4図書室を結んだ図書館情報ネットワークシステムにより、図書の貸し出し・返却・検索などの利用者サービスが充実し、図書資料の有効活用を図ることができた。

磯部郷土資料館では、展示会や学習活動を通して地域資料の収集・保存・調査研究・展示会や教育普及活動を行い、地域住民への歴史・文化への啓発を行った。今後は、志摩市歴史民俗資料館となり、よりいっそう市内全域にその調査対象範囲を拡大していく。

19、人権教育振興費 5,400,941 円【生涯学習人権教育課】

人権が尊重されるまちづくりのため関係機関や諸団体との協力、連携のもと人権教育の推進と啓発活動を実施した。

(1) 社会教育委員 委嘱・・・ 1 人

社会教育のうち主に人権教育に関する指導、助言をおこなう。市内幼稚園・小中学校へは人権教育の実践研究を通じて交流をおこない人権教育の充実を図った。(週5日)

社会教育指導員報酬 1,680,000 円

20、人権開発事業費 1,069,445 円

子どもたちに、自分自身に自信を持たせ、仲間をつくって将来を切り拓いていく力をつけるために、地域に根ざした人権学習を創造し、地域と共に子育てをしていく学校づくり、地域づくりを行った。

報償費600,000円・旅費189,940円・需用費179,505円・バス借上料100,000円

施策の成果及び執行実績

21、しまふれあい人権フォーラム事業費 …………… 466,338 円

市民が学校で人権学習を受けている児童生徒と心の交流を図ることにより、自分を見つめ直し、互いの人権感覚を高め、人権問題が市民一人ひとりのものとなり、その解決に向け市民が主体的に行動できる意識の高揚推進をめざし実施した。

参加者:769名

報償費20,000円・需用費23,140円・傷害保険料19,998円バス借上料403,200円

22、志摩市人権講座事業費 …………… 100,230 円

あらゆる人権課題の解決をめざし、人権文化を育てるため、以下の内容で実施した。

第1回「多文化共生について」(外国人の人権)

第2回「学校や家庭からみえてくる子どもの貧困について」(子どもの人権について)

第3回「人権問題に関する市民意識調査について」

第4回「発達障害とは何か」(障がい者の人権)

参加者:延べ265名

報償費60,000円・旅費16,870円・需用費23,360円

23、人権感覚あふれる学校づくり支援事業費 …………… 770,000 円

市内各中学校区を単位として、代表校へ児童・生徒のための人権・同和教育の実践及び研修活動を委託した。

委託金 70,000円×11校区=770,000円

24、人権教育研究会補助金 …………… 960,000 円

学校教育や地域における社会教育を通して、人権文化を構築する主体者づくりをめざすため、人権教育に携わるすべての保育・教育関係職員の連携と連帯を土台にした人権教育の研修、実践を推進し、あらゆる差別の解消と人権の確立をめざすため、志摩市人権教育研究会へ補助金を交付した。

【点検及び評価】

指導者育成とスキルアップのため、今後とも各種研修会へ積極的に参加していく必要がある。

人権フォーラムは、児童生徒が人権について自分の思いや意見を発表し、交流することを通じて、互いの人権感覚を養い高め合うことができた。また、市民が子どもたちの考えや思いを知り、さまざまな人権問題の解決に向けて自分ができることを考える機会となり、教育的効果が期待できるよう今後も内容の充実に努めていく。

人権講座等各種事業については、住民主体の人権教育の推進と、自ら啓発活動が行える人材の育成、人権学習機会の提供に努めており、出席者数からは一定の評価ができる。今後は、時代や受講者のニーズに応じた講座を開催するなど出席者の増加と、意識の高揚をさらに図る必要がある。

施策の成果及び執行実績

25、教育集会所運営費 …………… 4,647,784 円【生涯学習人権教育課】

社会の中に根強く残っている不合理な部落差別をなくすために、関係諸機関等と協力しながら、地域の実情に即した人権学習及び児童・生徒の教育向上のための教科学習活動等を行った。

事業内容	実 績 等
運営委員会	事業計画の立案、検討を審議 開催数2回(6月・2月)
関係諸機関連絡会議	関係機関との連携を図るため実施 開催数12回
人権教育推進研修会	同和教育推進のための研修会を実施 開催数3回
人権学習会	小学生人権学習会 回数75回 延べ参加者数422人 中学校人権学習会 回数40回 延べ参加者数290人
高校生の集い	人権学習希望生徒を対象に実施 回数13回 延べ参加者数187人
人権学習会発表会	学習会で学んだことを発表 回数1回 参加者数351人
小・中研修会	小学4・5・6年生研修会 回数1回 参加者数25人 (7月) 中学生研修会 回数1回 参加者数26人 (8月)
広報活動	館たより「高峠山」の発行 年12回
勉強会	小学生勉強会 回数31回 延べ参加人数677人 中学生勉強会 回数33回 延べ参加人数392人
人権学習等の協力	保育所 1回、小学校 14回、中学校 5回
愛育会活動との連携	各種活動に協力(役員会、清掃活動、小中学年別保護者会議、親子レクリエーション等)

【点検及び評価】

人権学習事業は地区をこえた参加者も多くなり、教育現場等において差別性を指摘することができる児童生徒が育ってきている。学習会事業においては、進路保障を目的とした課題克服に寄与できた。また、志摩市内の学校からの教職員の部落問題研修、子どもたちの出会い学習を受け入れ、指導・助言を行うなど、教職員や子どもたちの資質向上に寄与できた。

今後も実態としての差別がある限り、関係機関との緊密な連携のもと、部落差別をはじめあらゆる差別に向き合える児童生徒を育成するとともに、将来における生活の基礎となる進路保障に取り組んでいく必要がある。

施策の成果及び執行実績

VI 保健体育総務費

1、保健体育総務費 14,740,597 円 【スポーツ食育課】

《主な自主事業》

① Vリーグ岡山シーガルズバレーボール教室 1,000,000円

平成23年9月25日（浜島B&G海洋センター） 参加者300人

- ・（委託料）実行委員会に運営を委託
- ・トップアスリートに触れ、その指導を受けることで、市民が競技力・技術の向上を目指し、夢をもってスポーツ活動に取り組む機会をつくった。

【点検及び評価】

志摩市出身の山口舞選手の所属するVリーグ岡山シーガルズを招き、参加者300名がトップ選手から直接指導を受けることで、バレーボールの技術の向上とスポーツに対する意識の高揚が図れた。また、指導者が正しい指導方法を身につけることで、バレーボールの総合的な技術レベルの向上を図れた。

② 第5回美し国三重市町対抗駅伝 700,000円

平成24年2月19日（県庁前～県営総合競技場陸上競技場）

- ・（委託料）実行委員会に運営を委託した。
- ・11月から大会当日まで選手選考、選手管理及び強化、参加運営に至る業務を行った。

【点検及び評価】

今年度は、総合13位、市の部で11位という結果であったが、タイムは昨年とほぼ同じで、7区では総合4位になるなど、小中学生及び一般女子の活躍が顕著であった。

この大会を目標に努力している児童生徒一般成人がいるため、今後は、更なる選手の強化を図り入賞を目指したい。

《補助金》

- ・体育協会補助金 2,570,000円
- ・スポーツ少年団補助金 1,620,000円
- ・総合型地域スポーツクラブ補助金 4,000,000円
(浜島スポーツクラブ 2,080,000円 ・ 志摩スポーツクラブ 1,920,000円)
- ・社会体育選手派遣補助金 330,000円 (個人62件・団体1件)

【点検及び評価】

スポーツ関係団体に補助金を交付し、幅広い年齢層の市民を対象にスポーツに親しむ機会の提供を行うとともに、生涯スポーツの振興や青少年の健全育成を行った。

また、東海大会以上の大会へ出場する選手へ補助金を交付し、アスリートを目指す選手の育成支援を行った。

今後は、体育協会をはじめスポーツ関係団体の多くが旧町の運営方法を踏襲している部分があるため、各スポーツ関係団体の一本化と自主自立に向けた支援を行う必要がある。

施策の成果及び執行実績

《学校開放施設の利用状況》

① 学校開放施設利用登録団体数

区分	浜島地区	大王地区	志摩地区	阿児地区	磯部地区	合計
登録団体数	7	25	31	94	24	181

② 学校開放施設使用料

夜間照明使用料

項目	使用料 (円)	使用団体数
年間	643,500	377

③ 体育館使用料

項目	使用料 (円)	使用団体数
年間	2,252,500	5,920

【点検及び評価】

学校開放施設の利用について、利用団体の調整を図るとともに、随時施設の修繕等を行い利用者の利便性と安全性の確保に努めた。

今後は、学校再編に伴い、施設の利活用と体育施設のあり方の検討が必要である。

2、ふるさと公園費 3,111,690 円 【スポーツ食育課】

《利用状況》

① 多目的グラウンド

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	24,500	9	319	10	9,500	8	241
5	26,000	14	410	11	38,500	14	495
6	23,500	9	235	12	23,000	11	611
7	18,000	12	344	1	27,500	8	318
8	24,500	7	192	2	19,500	9	774
9	20,000	9	280	3	48,500	18	658
				合計	303,000	128	4,877

② テニスコート

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	38,500	8	85	10	29,500	8	62
5	41,000	7	99	11	33,000	8	77
6	38,000	5	79	12	44,500	9	69
7	38,000	9	82	1	23,000	8	49
8	21,500	5	39	2	36,500	9	70
9	35,000	7	69	3	28,500	8	76
				合計	407,000	91	856

施策の成果及び執行実績

3、志摩総合スポーツ公園施設費・・・・・・・・・・ 2,171,077 円 【スポーツ食育課】

《利用状況》

① 志摩総合スポーツ公園

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	31,500	29	428	10	32,250	29	1,290
5	37,750	32	593	11	31,500	28	571
6	24,500	23	380	12	25,250	27	364
7	32,000	28	1,031	1	24,750	23	499
8	48,000	32	321	2	27,750	30	625
9	21,250	15	1,162	3	26,500	34	422
				合計	363,000	330	7,686

4、長沢野球場施設費・・・・・・・・・・ 3,945,876 円 【スポーツ食育課】

《主な修繕》

○長沢野球場夜間照明修繕

安定器等の交換による夜間照明の機能復旧を行った。

請負業者： 有限会社 ユタカ電気工事

工 期： 着工 平成23年7月12日 完成 平成23年8月31日

契 約 額： 1,279,950 円

《利用状況》

① 野球場

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	49,000	12	406	10	88,000	19	530
5	52,500	13	517	11	57,000	12	580
6	50,500	12	405	12	0	0	0
7	60,000	13	627	1	0	0	0
8	61,000	15	378	2	0	0	0
9	113,500	23	771	3	69,000	15	571
				合計	600,500	134	4,785

施策の成果及び執行実績

5、阿児テニスコート施設費 1,120,783 円 【スポーツ食育課】

《利用状況》

① テニスコート

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	4,000	1	21	10	10,500	3	38
5	10,000	3	63	11	4,500	3	15
6	7,000	1	19	12	0	0	0
7	1,500	1	17	1	0	0	0
8	2,000	1	10	2	12,000	4	46
9	1,500	1	4	3	16,000	5	60
				合計	69,000	23	293

② 阿児ふるさと公園 (多目的広場)

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	26,000	18	592	10	45,000	17	575
5	17,000	11	342	11	28,000	11	394
6	36,000	18	446	12	14,000	7	243
7	23,500	13	358	1	9,000	8	269
8	27,500	12	355	2	10,000	9	490
9	39,000	14	362	3	36,000	23	811
				合計	311,000	161	5,237

6、賢島スポーツガーデン施設費 6,931,525 円 【スポーツ食育課】

・4月～9月の期間は利用時間を午後9時30分までとした。
 (10月～3月までの期間は午後5時まで。)

《主な修繕》

○賢島スポーツガーデンボイラー修繕工事

施設シャワーを含む給湯設備の機能復旧を行った。

請負業者： 有限会社 六 助

工 期： 着工 平成24年2月28日 完成 平成24年3月21日

契 約 額： 1,785,000 円

施策の成果及び執行実績

《利用状況》

① テニスコート

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	81,100	71	507	10	66,600	54	273
5	128,600	65	568	11	153,500	65	396
6	123,400	57	491	12	48,800	60	398
7	134,000	124	1,231	1	77,800	58	293
8	484,200	78	846	2	351,500	60	632
9	212,100	69	783	3	266,800	43	501
				合計	2,128,400	804	6,919

7、阿児農業者健康管理センター施設費 1,810,823 円 【スポーツ食育課】

《利用状況》

① 多目的体育館

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	33,200	39	516	10	29,900	37	483
5	29,800	38	491	11	29,000	35	581
6	29,600	36	390	12	27,800	33	616
7	36,900	45	792	1	24,900	28	412
8	31,600	33	429	2	28,300	34	570
9	33,500	30	438	3	48,350	44	740
				合計	382,850	432	6,458

② 機能訓練室

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	6,000	13	60	10	6,200	13	62
5	5,700	12	57	11	0	0	0
6	6,100	13	61	12	11,100	25	111
7	5,600	13	56	1	4,700	10	47
8	5,400	13	54	2	5,700	13	57
9	5,300	13	53	3	2,800	6	28
				合計	64,600	144	646

施策の成果及び執行実績

8、長沢運動公園グラウンド管理費・・・・・・・・・・ 1,512,080 円【スポーツ食育課】

《利用状況》

① 多目的広場

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	0	0	0	10	0	0	0
5	0	0	0	11	4,000	1	200
6	0	0	0	12	2,000	1	59
7	0	0	0	1	0	0	0
8	0	0	0	2	0	0	0
9	0	0	0	3	0	0	0
				合計	6,000	2	259

【点検及び評価】

各分室・スポーツ施設等については、地域の特性を持ったスポーツ振興施策を展開して、各地域住民が体力づくり・健康づくりの場として効果的にスポーツ施設を利用している。今後も各地域のスポーツの振興を通じて地域の元気づくりに寄与することが期待できる。

スポーツ施設の利用率は、昨年度と比較し平均的に横ばい傾向であるが、賢島スポーツガーデンは利用率の低い10月から翌年3月まで利用時間を午後5時までとし、経費の節減を図っている。また、今年度は同施設について指定管理者の公募を行い、平成24年度から株式会社代々木高校が管理・運営を行うことになった。

阿児農業者健康管理センターは、学校給食センター改築工事の関係で平成24年度に取り壊すことになるため、今年度限りで利用を停止した。

各スポーツ施設は、ほとんどの施設が建築後20年以上を経過し老朽化が著しいため、改修工事が必要となっているが、施設数が多く多額の改修費用が必要となるため、今後は利用状況に応じた施設の統廃合や指定管理者制度の導入等、弾力的な運用を検討する必要がある。

9、磯部ふれあい公園管理費・・・・・・・・・・ 22,875,700 円【スポーツ食育課】

指定管理者による磯部ふれあい公園及び磯部プールの管理運営を行った。

- ・ 指定管理者：NPO法人いそべスポーツクラブ
- ・ 指定管理料：平成23年度 22,000,000円
- ・ （対象年度：平成23年度～平成25年度）

《主な修繕》

○磯部ふれあい公園水中ブローアーオーバーホール

浄化槽水中ブローアーのオーバーホールにより機能復旧を行った。

請負業者： 志摩環境事業協業組合

工 期： 着工 平成23年8月24日 完成 平成23年10月24日

契約額： 330,300 円

施策の成果及び執行実績

○ふれあい公園自動扉修繕工事

入り口自動ドアの修繕により機能復旧を行った。

請負業者： 三重ドアエンジン株式会社

工 期： 着工 平成23年9月26日 完成 平成23年10月28日

契約額： 323,400 円

10、きめ細かな磯部プール施設費 3,932,000 円 【スポーツ食育課】

・地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

志摩市磯部プール塗装の劣化による機能障害を改善するため、塗裝修繕を行った。

○平成23年度（22年度繰越）志摩市磯部プール塗裝修繕工事設計監理業務委託

請負業者： 阪本建築設計事務所

工 期： 着工 平成23年2月7日 完成 平成23年6月30日

契約額： 299,000 円

○平成23年度（22年度繰越）志摩市磯部プール塗裝修繕工事

請負業者： 株式会社 石吉組

工 期： 着工 平成23年4月20日 完成 平成23年6月15日

契約額： 3,633,000 円

【点検及び評価】

磯部ふれあい公園及び磯部プールの管理運営について指定管理者制度を導入し、平成23年度から平成25年度までの期間、NPO法人いそべスポーツクラブが管理運営を行っている。このことにより、維持管理費の節減とスポーツ振興や青少年の健全育成を目的とした地域密着型の活発な活動を行うことができた。

今後は、老朽化した施設の改修を指定管理者と協議し検討していく。

11、迫塩社会体育館施設費 598,777 円 【スポーツ食育課】

《利用状況》

① 体育館

月	使用料（円）	団体数	使用人数	月	使用料（円）	団体数	使用人数
4	2,250	4	119	10	2,000	4	113
5	5,000	6	170	11	6,000	6	60
6	2,500	5	124	12	4,000	5	112
7	5,000	5	109	1	3,000	3	65
8	2,000	2	37	2	3,500	4	81
9	3,000	3	64	3	2,500	5	130
				合計	40,750	52	1,184

施策の成果及び執行実績

12、きめ細かなふるさと公園費 7,696,500 円 【スポーツ食育課】

・地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

浜島ふるさと公園の遊具が老朽化で危険な状態であったため、H22年度で撤去を行ったが、利用者も多いため総合遊具1基を設置した。

○平成23年度（22年度繰越）浜島ふるさと公園遊具設置工事設計・積算業務委託

請負業者： (財) 三重県建設技術センター

工 期： 着工 平成23年3月14日 完成 平成23年4月28日

契 約 額： 525,000 円

○平成23年度（22年度繰越）浜島ふるさと公園遊具設置工事

請負業者： クロノス株式会社

工 期： 着工 平成23年6月3日 完成 平成23年8月31日

契 約 額： 7,171,500 円

13、浜島給食センター費 28,616,657 円 【スポーツ食育課】

浜島学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 3,067,180 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	2	1	0	3	2

・ 施設及び設備の修繕の状況

【主な修繕】

・ 洗浄室エアコン修理 295,050円

※ 施設修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	577,941	205,675

※ 備品修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	242,218	932,584

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	1	1	1	1	5
食数	51	191	165	9	50	466

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	193日 (保育所 233日)
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

施策の成果及び執行実績

14、大王給食センター費・・・・・・・・・・・・・・・・ 45,111,638 円 【スポーツ食育課】

大王学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 8,001,500 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	2	1	1	4	5

・ 施設及び設備の修繕の状況

【主な修繕】

- ・ ボイラー室有圧扇交換工事 300,300円
- ・ 蒸気ボイラー修理工事 241,500円
(水位制御筒交換)

※ 施設修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	839,695	642,501

※ 備品修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	167,793	256,536

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	3	2	1	4	11
食数	26	331	219	13	180	769

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	193日 (保育所 231日)
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

15、志摩給食センター費・・・・・・・・・・・・・・・・ 79,895,852 円 【スポーツ食育課】

志摩学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 8,569,430 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	1	0	0	5	6

・ 施設及び設備の修繕の状況

【主な修繕】

- ・ 給湯管修理 1,249,500円
- ・ エレベーターリレーコイル取替 176,400円
- ・ コンビオープン軟水器取替 105,000円

※ 施設修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	818,698	1,561,076

※ 備品修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	1,085,397	431,420

施策の成果及び執行実績

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	3	5	3	1	0	12
食数	122	584	395	13	0	1,114

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	193日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

16、阿児給食センター費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134,707,811 円 【スポーツ食育課】

阿児学校給食センターの管理運営にかかる経費

- ・ 臨時職員賃金 8,568,030 円

- ・ 施設及び設備の修繕の状況

【主な修繕】

- ・ ボイラー修理 157,500円
- ・ 自動扉開閉装置取替修理 189,000円
- ・ 食器洗浄機食器供給装置修理 193,200円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	3	4	0	9	9

※施設修繕料

年度	22年度	23年度
金額(円)	475,692	553,606

※備品修繕料

年度	22年度	23年度
金額(円)	869,113	1,202,461

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	3	7	3	1	8	22
食数	216	1,462	761	26	527	2,992

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	193日(保育所 232日)
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

施策の成果及び執行実績

17、磯部給食センター費・・・・・・・・・・・・・・・・ 49,862,434 円 【スポーツ食育課】

磯部学校給食センターの管理運営にかかる経費

・ 臨時職員賃金 6,194,260 円

※職員の状況 (人)

所長	栄養士	運転手		調理員	
		(正)	(臨)	(正)	(臨)
1	1	1	0	4	5

・ 施設及び設備の修繕の状況

【主な修繕】

- ・ ボイラー用ブースポンプ取替1式 179,550円
- ・ ボイラー室蒸気減圧弁及び安全弁取替1式 111,300円

※ 施設修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	266,920	772,800

※ 備品修繕料

年度	22年度	23年度
金額 (円)	913,941	196,879

《給食実施状況》

①配食施設別給食人員

施設種別	幼稚園	小学校	中学校	給食センター	保育所・児童館	合計
施設数	1	4	2	1	0	8
食数	49	436	275	12	0	772

②給食内容

給食回数	週5日の完全給食
給食実施日数	193日
主食の内容	米飯・・・週4回 パン・・・週1回
主食について	米飯・パンを丸仙製パンへ委託

18、学校給食総務費・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,187,609 円 【スポーツ食育課】

・ 学校給食センター運営委員会の開催

第1回開催日：平成23年7月5日

第2回開催日：平成24年2月23日

委員：小学校長代表2人 中学校長代表2人 幼稚園長代表1人

P T A代表10人 養護教諭代表5人 計20人

【点検及び評価】

学校給食センター運営委員会を開催し、委員である学校長・P T A代表・養護教諭らに対し、給食センターの概要や運営状況及び新学校給食センターの整備計画について説明し、意見等を伺った。

また、学校給食費について、食材の高騰等により値上げの可能性を示し、特にP T A代表の意見を伺った。給食の回数を減らしたり、給食の質を落とすくらいならば、給食費の値上げをしてもらってかまわないというP T A代表の委員の意見を聞くことができた。引き続き、給食費の値上げについて、慎重に検討していく必要がある。

施策の成果及び執行実績

- ・ 地場産物を使った「志摩のふるさと給食」を実施

実施日	実施した給食センター	
平成23年11月17日	浜島・大王・志摩・阿児・磯部	市内統一献立
平成23年 6月16日	志摩・阿児	各給食センター による献立
平成23年 6月17日	浜島・大王・志摩・磯部	
平成24年 1月24日	浜島・大王・志摩・阿児	
平成24年 1月25日	志摩・磯部	
平成24年 1月26日	志摩	

【点検及び評価】

子どもたちが地元で採れる産物や旬の食物について知ることができる教材として給食を活用でき、各学校において保護者等を招いた試食会などを実施し、給食への理解を深めるとともに学校・家庭・地域を巻き込んだ食育の推進に貢献している。

志摩市では給食として地元で大量に準備できる食材が少ないので、21年度より統一献立を年1回（2学期）とし、1学期と3学期は各給食センター単位で、その地域の特色ある地場産物を使った給食を企画した。今後も給食に積極的に地場産物を取り入れ、食育に繋げていく。

- ・ 学校給食における食物アレルギー対応事業（緊急雇用創出事業）

緊急雇用創出事業を活用し、アレルギー対応専用の臨時職員を任用して、食物アレルギー等を持つ児童生徒への学校給食の除去食・代替食の対応を行った。

臨時職員を配置した給食センター

- ・ 志摩学校給食センター 1人
- ・ 阿児学校給食センター 4人
- ・ 磯部学校給食センター 1人

【点検及び評価】

食物アレルギーをもつ児童生徒に対して、食物アレルギー対応食を提供することにより、みんなと同じように給食を一緒に食べることができている。

緊急雇用創出事業の活用により、人員の確保ができており、施設整備は不十分ながらもきめ細かな対応ができている。今後も、できる限りの対応を継続して行い、新学校給食センターには、アレルギー対応ができるよう調理スペース・調理器具の設置を計画している。

施策の成果及び執行実績

・給食費徴収状況（5センターまとめ）

		23年度	22年度	21年度
現年度分	調定額	220,307,536	228,007,960	239,736,930
	収入額	220,097,256	227,588,290	239,080,273
	収入未済額	210,280	419,670	656,657
過年度分	調定額	2,376,151	2,519,109	2,487,255
	収入額	402,167	562,628	624,803
	収入未済額	1,973,984	1,956,481	1,862,452
合計収入未済額		2,184,264	2,376,151	2,519,109

【点検及び評価】

給食費の未納を減らすため、未納通知の発送や訪問徴収により滞納額の解消に努めた。「子ども手当」の支給があったため、受給者には、通知や電話によりその活用を依頼した。現年度分の未納額が昨年度よりも減少したのは、「子ども手当」の支給があったためと考えられる。今後も未納解消のため引き続き学校と協働しての取り組みが必要とされる。また、過去の未納分については、裁判所を通じての支払督促等も検討したい。

19、学校給食センター整備事業費・・・・・・・・・・ 32,896,415 円 【スポーツ食育課】

- ・給食センター改築工事実施設計業務委託料 28,528,500 円

施設の老朽化、学校給食衛生管理基準への対応及び児童生徒数の減少への対応などのため、市内の小中学校対象の新学校給食センターを整備するにあたり、実施設計業務を実施した。

受注者 田端・勝田特定建築設計共同企業体
(事前審査方式 条件付一般競争入札により決定)

【点検及び評価】

志摩市に適した学校給食センターを整備するべく、昨年度に策定した「志摩市学校給食センター基本構想・基本計画」を基に、新学校給食センター建設のため実施設計を行った。

調理員等の意見も聴取し、「学校給食衛生管理基準」を遵守しつつ、職員が働きやすいセンターとなるよう配慮した。

- ・学校給食センター改築工事に伴う地質調査業務委託料 3,545,850 円

新学校給食センターの改築工事に伴い、建設用地の地質調査を実施した。

受注者 松阪鑿泉株式会社 (一般競争入札により決定)

施策の成果及び執行実績

【点検及び評価】

新学校給食センター改築工事に伴い、建設予定地の地質調査を実施した。
当初の計画よりも支持層となる基盤岩の分布深度が深く、変更契約を行った。
調査箇所については、当初6箇所の予定であったが、4箇所終了時点でほぼ同程度の数値が出たため、実施設計を担当する設計士の判断により、あとの2箇所は中止した。

・学校給食センター改築に伴い、大型で備え付けの厨房機器はメーカーにより配管等の位置が違うため先にメーカーを決定して実施設計を進める必要があることから、プロポーザル方式により厨房機器メーカーを決定した。併せて、オール電化方式とベストミックス（電気・ガス併用）の比較を行い、オール電化方式が選定された。
選定された厨房機器メーカー：株式会社 アイホー 名古屋支店

【点検及び評価】

新学校給食センター改築工事の実施設計を行ううえで、大型厨房機器については、先にメーカーを決定し、実施設計に反映させる必要があったため、プロポーザル方式により決定した。同時に、オール電化方式とベストミックス（電気・ガス併用）方式の比較を行い、オール電化方式が選定された。
これにより、輻射熱が抑えられ、高温にならない、衛生的で快適な環境での給食調理が見込まれる。

・学校給食センター建設等検討委員会を設立し、新学校給食センターの運営等について検討する場とした。

委員：教育部長、給食センター調理員代表、栄養教諭、スポーツ食育課長
事務局：スポーツ食育課担当

第1回 平成23年11月21日

第2回 平成23年12月21日

第3回 平成24年 1月26日

【点検及び評価】

現在は、5つの学校給食センターそれぞれで規模や施設・設備が違うため、調理員等の作業も違いがあり、新学校給食センターにおける作業について話し合ったり、新センターで必要な調理器具の選択や配送方法等について検討した。

平成25年9月の供用開始に向け、スムーズにセンター移行ができるよう詳細にわたっての検討を必要とする。

20、浜島海洋センター施設費 …………… 19,830,823 円【スポーツ食育課】

○浜島B&G海洋センターにおいて次の業務を行った。

- ・ 施設の維持管理及び運営
- ・ 浜島スポーツクラブ等生涯スポーツ団体の育成支援
- ・ 三重県地域海洋センター・クラブ連絡協議会及び中部ブロック
B&G海洋センター連絡協議会の事務局業務

施策の成果及び執行実績

《利用状況》

① アリーナ等

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	42,150	19	476	10	38,175	24	1,655
5	44,525	22	653	11	48,825	21	612
6	32,000	12	403	12	31,675	14	320
7	45,200	24	724	1	43,200	30	435
8	49,925	19	454	2	40,825	29	432
9	73,225	17	1,015	3	62,425	36	757
				合計	552,150	267	7,936

② プール

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	123,725	27	899	10	125,450	33	1,744
5	160,200	29	1,026	11	81,525	34	1,011
6	93,650	31	1,237	12	38,400	20	533
7	161,575	46	1,789	1	0	0	0
8	133,750	66	2,108	2	0	0	0
9	75,550	26	910	3	0	0	0
				合計	993,825	312	11,257

21、志摩海洋センター施設費 …………… 11,288,961 円【スポーツ食育課】

○志摩B&G海洋センターにおいて次の業務を行った。

- ・ 施設の維持管理及び運営
- ・ 志摩スポーツクラブ等生涯スポーツ団体の育成支援

《利用状況》

① アリーナ等

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	106,600	48	1,189	10	129,300	75	1,677
5	126,500	61	1,458	11	116,700	69	1,587
6	121,350	72	1,570	12	93,950	53	992
7	131,150	63	1,629	1	84,900	47	954
8	116,700	58	1,560	2	106,700	62	1,101
9	166,550	64	1,411	3	123,900	52	1,339
				合計	1,424,300	724	16,467

施策の成果及び執行実績

② プール

月	使用料 (円)	団体数	使用人数	月	使用料 (円)	団体数	使用人数
4	0	0	0	10	0	0	0
5	0	0	0	11	0	0	0
6	0	5	200	12	0	0	0
7	116,775	23	2,443	1	0	0	0
8	112,700	18	2,033	2	0	0	0
9	0	0	0	3	0	0	0
				合計	229,475	46	4,676

※学校・園水泳等を含む

【点検及び評価】

地域海洋センターの設立目的である地域の住民を通じての体力向上と心身の健全な発達、住みよい地域社会の形成に努めるとともに、総合スポーツクラブと連携してスポーツ活動の積極的な推進に努めた。また、浜島B&G海洋センターにあっては、昨年度に引き続き、三重県地域海洋センター・クラブ連絡協議会及び中部ブロックB&G海洋センター連絡協議会の事務局として事業の実施に努めた。

今後は、平成25年度の指定管理者制度導入について準備を進めるとともに、計画的に老朽化した施設の改修を行い、利用者の利便性の向上と安全性の確保に努める。

VII 学識経験者の意見

「教育委員会の事務の管理及び執行の状況と点検及び評価」を行うに当たっては、教育に関し学識経験者の知見の活用を図ることが定められていることから、志摩市代表監査委員の山川泰規氏より、平成24年8月6日(月)に監査委員事務局において「平成23年度主要事業」について意見を頂戴した。その主なものについて、以下に記載する。

【教育委員会 P. 1】

教育委員会の開催についてのみ記載となっているが、会議以外にも教育委員としての身分で行事への参加や教育現場視察などの活動も行っているだろうから、それらも記載してはどうか。

【ALT P. 1】

ALT制度を導入してから20年以上たっているということだが、その成果は何かで測れないのか。子どもたちから授業は楽しいかとか、先生にメリットをアンケートで聞くなど、ALT派遣による効果の検証も今後行ってはどうか。

【学校図書館運営補助員巡回事業 P. 2】

監査で学校を訪れた際に学校図書館を見学する機会があったが、学校図書館運営補助員により子どもの興味を引くような親しみやすい工夫がされていて、とても有効な事業であると感じた。国の緊急雇用制度を活用しての事業であるため、次年度以降、この事業がなくなるのが残念である。

【自分発見！中学生・地域ふれあい事業 P. 2】

勤労の大切さやマナーを身につけるなど、この事業の意義は大きいと思うが、志摩市内の職業には限りがあることから、職場体験活動を地域の職場とすると、どうしても制限があるだろう。中学生の時期に、世の中には多くの職業があって、それらの職業の特性なりそこで働く人なりを知ることは、今後の進路に役立つと思うので、もっと幅広く職業の実態を知る企画はできないものか検討されてはどうか。

【授業研究指定校事業 P. 2】

学力向上のためには、授業で習っていることが生活に役立つと児童生徒が実感できることが大切と考えるので、そのような工夫をどんどん取り入れた授業づくりを、今後ますます学校で展開していただきたい。

【奨学金・準要保護就学援助費 P. 4他】

就学の機会を保障してあげることがとても大切なこと。長引く不況の中、個々の家庭の経済的事情を考えると、奨学金や準要保護就学援助費の事業は、是が非でも継続していただきたい。

【介助員等配置事業 P. 6他】

学校介助員に代わる教育活動サポート員について、23年度と本年度は緊急雇用事業があったのが、来年度はなくなるように聞いている。対象となる子どもが増えており、今後の、国や県の施策や新規メニューに期待したい。

【その他】

スポーツ食育課や生涯学習人権教育課にあっても、国の交付金制度や緊急雇用制度を活用した事業を積極的に実施していることは評価できる。引き続き、国からの補助の動向を注視するとともに住民ニーズを把握しながら、効率的な事業展開を望む。

教育委員会の事務の管理及び執行の状況には直接関係はないが、いじめの問題について、学校現場の対応が問題になっているケースが他県で見受けられる。この問題は、現場の先生の個人的な判断に任せるのではなく、例えば、現場と共同して「いじめの早期発見マニュアル」を作成するなど教育委員会としても学校現場と一体となって、組織的にこの問題に取り組んでいただきたい。